

< 農業生産法人、集落営農組織の育成を実施している事例 >

人が豊かに住める稔りある集落を目指して

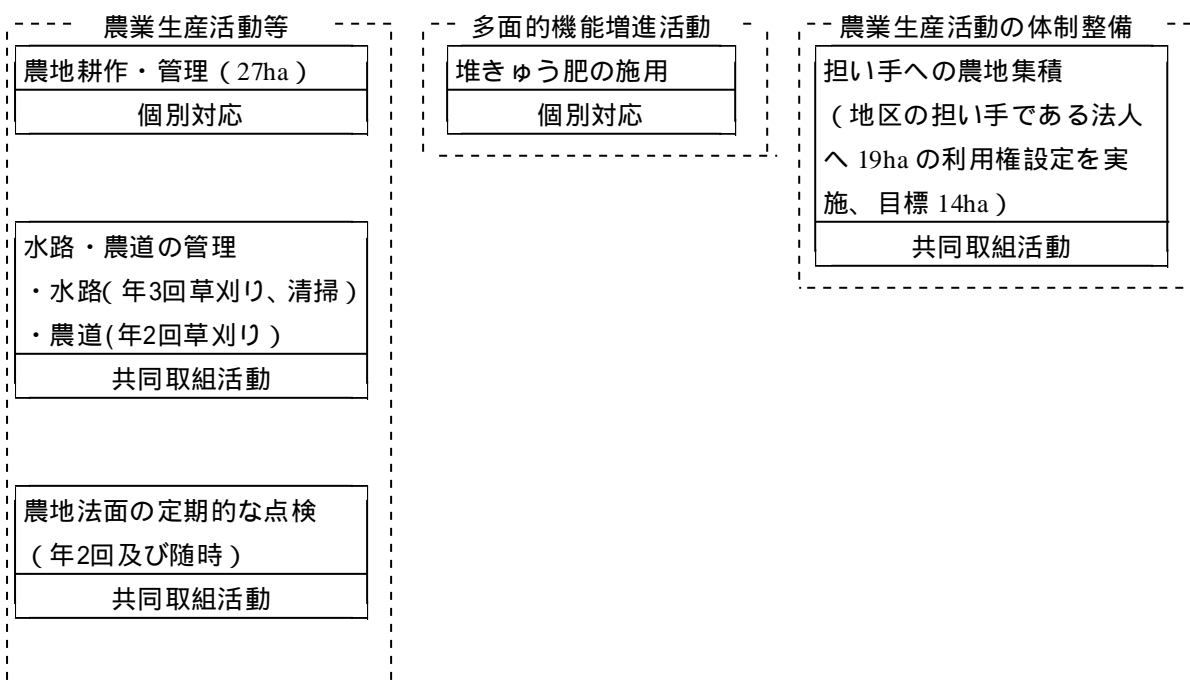
1. 集落協定の概要

市町村・協定名	山口県山口市徳地・船路西			
協定面積 27ha	田(100%) 水稲	畑	草地	採草放牧地
交付金 278万円	個人配分			42%
	共同取組活動 (58%)			
	役員・報酬・会議費			7%
	鳥獣害対策費			21%
	簡易な基盤整備費			4%
	積立金			17%
	研修費			5%
	事務・会議費			4%
協定参加者	農業者29人、(農)れんげの里(構成員42人)			

2. 集落マスタープランの概要

近年、集落では、高齢化・後継者不足が進行しているため、この制度を生かし農業生産活動を継続し、更には、法人を設立することにより組織強化を図りながら、集落の目標である「人が豊かに住める稔りのある集落づくり」を目指す。

[活動内容]

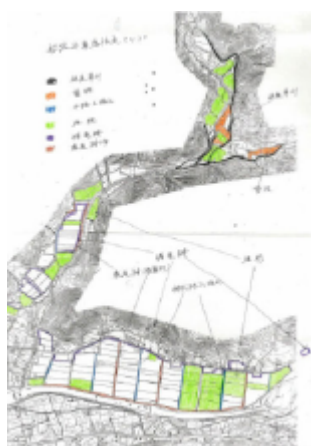


3. 取組の経緯及び内容

船路西集落協定を締結している上河内集落と下庄集落は、高齢化と農業後継者不足が進行しているため、現状のままでは農業を継続していくのが困難な状況になってきつつある。そのため、平成13年度より、この制度を活用し、集落で農地の保全に努めてきた。第2期対策では、第1期対策に加え、牛糞堆肥を使用した美味しい米作りの実施や農事組合法人の設立を中心に取組みを行っている。

法人を設立するにあたり、集落内の人に法人設立の理解を得ること等課題はあったが、先進地視察や話し合いを重ねていき、2集落42人の農業者で（農）船路れんげの里を設立した。そのうち協定農用地がある農業者は、29名である。設立後は、農地の集積化を図り、70%以上の協定農用地で利用権設定を実施している。

農用地等保全マップ



【マップの解説】

- ・補修が必要な農道箇所
- ・鳥獣害対策の電柵設置箇所
- ・堆きゅう肥施用ほ場
- ・水路土堀上実施箇所



農道・水路の共同作業の様子



農事組合法人船路れんげの里設立

[平成19年度までの主な効果]

担い手への農地集積による体質強化

(当初：船路西営農組合へ 3.3ha、目標：同営農組合へ 13.6ha、H19年実績：特定農業法人へ 19.1ha)